



ミツマタ [三叉]

落葉／低木／木本植物／外来種・園芸品種



科名 ジンチョウゲ科 (APGⅢ)

特記 生長：やや遅い

葉の芽吹く前の枝先に、芳香ある小さな花をたくさん咲かせ、満開になると樹姿が花で縁取られる。花弁はなく萼（がく）の内側が黄色になる。また、紅色になる品種にベニバナミツマタがある。枝が三つ又に分岐することからミツマタの名があり、枝分れの様子が話題になる。



Memo

ミツマタの樹皮は繊維質が強く、コウゾとともに紙幣や手漉（てすき）和紙の主要な原料になる。

お手入れカレンダー	月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
🌸	花期		■										
🍒	果実						■						
🍂	紅葉												
🌱	施肥	■											
✂️	剪定					■ (花後早めに) ★★							

★：花芽分化の時期（分化後に剪定すると花付が少なくなる）

好みの環境					
日当たり	陽	○	○	○	陰
土壌	乾		○	○	湿
寒さ	強		○		弱
暑さ	強	○			弱
潮風	強		○		弱

観賞ポイント	姿	花	葉	紅葉	黄葉	実	香
		○					

ポイント

添景にしてもよく、単木で配植しても納まりがよい。秋には早くも花芽をつけ、早春に銀白色の花芽が膨らんでくる様子は、春の訪れをいち早く感じさせてくれる低木。定植後の移植は困難。

剪定

生長が遅い低木なので、剪定は飛び出した枝を切り詰める程度で充分。ベニバナミツマタは接ぎ木されているので、台木から伸びるひこばえを切除する。放任すると台木の黄色い花が咲き始める。

病虫害

樹幹に穴をあけるテッポウムシ（カミキリムシの幼虫）の被害を受けることがある。幹下に木屑を見つけ次第駆除する。また、過湿地では根腐れしやすいので注意する。